

## 平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 国語総合 改訂版」 (第一学習社)						
副教材等	「新版品詞別頻出漢字マスター 3000」 (尚文出版)、「基礎からの総合トレーニング 現代文 1 STEP 編」 (ラーンズ)、「基礎からの総合トレーニング現代文 1 JUMP」 (ラーンズ)、「古語単語と一緒に学ぶ これからの古典文法 改訂版」 (尚文出版)、「改訂版 読むナビ古文 1 基礎編」 (いいづな書店)、「精選漢文 重要な句法と語彙を学ぶ」 (尚文出版)、「精選漢文ノート」 (尚文出版)、「新総合図説国語 新訂版」 (東京書籍)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

学習方法としては日々の授業に臨むにあたり提示される課題に主体的に取り組みましょう。授業では、教科書からの課題の他に定期的に行われる漢字の小テストにもしっかりと取り組み、必要な語彙も身に付けていくようにしましょう。

## 2 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・伝え合う力を高めるために、言語文化に対する関心を深めようとし、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・目的や状況に応じて相手の話を聞いたり、考えを話したりすることでき自分の考えを深めている。	・目的や状況に応じて適切な表現を選択し、文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・文章を正確に読み取り、目的に応じてさらに深く読み込むことで自分の考えを深めている。	・漢字や熟語、ことわざ、慣用句などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業中の取組み ・宿題や提出物の状態 ・出席状況	・授業中の取組み ・相互評価 ・授業での発表の様子	・授業中の取組み ・定期テスト ・提出物の状態	・定期テスト ・宿題や提出物の状態など	・小テスト ・定期テスト ・宿題や提出物の状態

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動（現代文分野）

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一 学 期	隨 想	『驚くという才能』 ・隨想の読み方を知る。 ・生活していく中で色々なことに興味を持つことが平和に生きることにつながり、その平和をつないでいくのが若者であること読み取る。 ・若者の担う役割を押された上で、今後の高校生活の抱負を新たにする。	○			○	○	a:内容を理解した上で、高校生活の目標を持とうとしている。 d:驚くことが才能であり、それが平和な世界を導く論理を内容を読み取り理解している。 e:語句等の知識を習得している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	小 説	『旅する本』 ・短編小説の読み方を知る。 ・時間の流れによる主人公の心情の変化を読み取る。 ・本と主人公との関係を読み取る中から生徒自身の読書意欲を高める。	○	○	○	○	a:時間の経過での主人公の心情の変化を読み取ろうとしている。 b:時間の経過による主人公の心情の変化を周りとの意見の交換も踏まえて読み取っている。 d:短編小説の読み方を習得している。 e:本文中の語句の意味などの知識が身についている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態	
	評 論	『水の東西』 ・二項対立的な評論の読み方を知る。 ・水を中心見た西洋文化と日本文化の差異を読み取る。 ・本文から他国の文化と自国の文化の差異を知り、理解を深める。	○	○		○	a:自国と他国文化の差異を知り、理解しようとしている。 b:西洋文化と日本文化の差異を本文から読み取り、具体的にどのような差異が本文中に挙げられているか交流している。 d:二項対立的な評論の読み方を身に付けている。 e:文化の違いを理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態	
	小 説	『夢十夜』 ・小説の読み方を知る。 ・夏目漱石に対する理解を深める。 ・登場人物の心情や行動を理解し、夢幻的な世界観を読み味わう。	○	○		○	a:小説を読み味わおうとしている。 b:登場人物の心情や行動を周りとの交流の中で読み取っている。 d:小説の読み方を習得している。 e:夏目漱石についての知識を身に付けている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態	

二 学 期	評論	『「文化」としての科学』 ・評論の読み方を知る。 ・文章全体の構成を把握し、筆者の論の展開に沿って正しく内容を読み取る。 ・科学というテーマに触れ、視野を広げる。	○	○	○	○	a: テーマである科学に興味を持ち理解しようとしている。 b: 本文の内容についての問題を解くにあたって周りと交流し、他者の考えに触れ、自身の考えを深めている。 d: 筆者の論の展開に沿い内容を読み取っている。 e: 評論の読み方を習得している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
評論	『グローバリズムの「遠近感」』 ・評論の読み方を知る。 ・グローバル化された世界についての認識を深める。 ・グローバル化することにより「遠近感」が失われていることが問題であることを読み取る。	○	○	○	○	a: グローバル化された世界について認識を深めようとする。 d: 内容を読み取り、グローバル化により起こる問題点を考察し、筆者の論よりグローバル化の問題点を読み取っている。 e: 評論の読み方を習得している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態	
小説	『羅生門』 ・小説の読み方を知る。 ・登場人物の性格・心情・行動を本文から読み取る。 ・芥川龍之介について知る。 ・本文の一部を書き換え、その作品について交流する活動を通し、内容の理解を深める。	○	○	○	○	a: 登場人物の性格・心情・行動を読み取ろうとしている。 b: 本文の内容を踏まえ、書き換えたものを基に交流ができる。 c: 本文の内容を読み取り、理解した上で物語の書き換えができる。 d: 内容を読み取ることができる。 e: 語句等を知り、作者についての知識を身に付けている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態	
評論	『ネットが崩す公私の境』 ・評論の読み方を知る。 ・身近なインターネットについて振り返り、認識を深める。 ・本文の内容を読み取り、インターネットや情報社会についての問題点を理解する。	○	○	○	○	a: 身近なインターネットについて振り返り考えようとしている。 b: インターネットについて認識を深め自分の意見を持っている。 d: 本文の内容を読み取り、情報社会の問題点を理解している。 e: 評論の読み方を習得している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態	
三 学 期	評論	『自分の身体』 ・評論の読み方を知る。 ・全体の構造を把握し、筆者の論の展開に沿って読み取る。 ・自分の身体について考えることで自己に対する認識を深める。	○	○	○	○	a: 自分の身体について考えることで、自己認識を深めようとしている。 b: 本文の内容を読み取り、自分の身体について考え、周りと交流することで理解を深める。 d: 全体の構造を把握し、筆者の論の展開に沿って読み取っている。 e: 評論の読み方を習得する。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

	小説	『城の崎にて』 ・小説の読み方を知る。 ・生き物の生と死について認識を深める。 ・小説のおもしろさについて理解を深め、読み味わう。 ・志賀直哉について知る。	○	○	○	○	a:生き物の生と死について認識を深めようとしている。 b:内容を読み取り、自分の言葉で意見を述べることができる。 d:小説のおもしろさについて理解し、読み味わうことができる。 d:志賀直哉について知る。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
--	----	--	---	---	---	---	--	---

### 学習の活動（古典分野）

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	古文入門	『古文の学習』 ・古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。	○				○	a:古典を学ぶにあたっての意欲を持っている。 d:古典とはどのようなものかを理解している。 e:歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		『児のそら寝』 ・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解する。	○			○	○	a:声に出して本文を読んでいる。古文特有の語の意味を古語辞典で調べている。内容を理解しようとしている。 d:話のおもしろさについて、意見を持ち、話し合っている。古典とはどのようなものかを理解している。内容を展開に即して理解している。 e:歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。古文の特有の語や文法を認識している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		『絵仏師良秀』 ・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文語と口語の違い、古典文法の基本について理解する。 ・芸術至上主義や職業意識について話し合い理解を深める。	○			○	○	a:声に出して本文を読み、古文特有の語の意味を古語辞典で調べ、内容を理解しようとしている。 d:話のおもしろさについて、意見を持ち、話し合っている。内容を本文に即し理解している。 e:歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。古文の特有の語や文法を認識している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態





二 学 期	軍記物語を読む	『平家物語』	○				a: 声に出して本文を読んでいる。重要語句の意味を古語辞典で調べている。内容を理解しようとしている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		・軍記物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・音便について理解する。	○	○	○	○	d: 読解を深めることで、物の見方、感じ方、考え方を広くしている。時代背景や登場人物について調べたり発表したりしている。内容を構成や展開に即して理解している。  e: 本文を正しく音読できる。助動詞の意味用法について理解している。『平家物語』の冒頭部分を暗誦できる。和漢混交文、音便について理解している。敬語の種類と用法を理解している。  軍記物語・『平家物語』について文学史上の基本的な知識を持っている。	
古代の史話	『完璧』	・比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、故事成語・成句などを正しく理解する。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。	○		○	○	a: 漢文を声に出して読んでいる。文章中の語句の意味と用法を漢和辞典を引いて調べている。  d : 文章の内容を、話の展開に即して理解している。句形の読み方と意味を理解している。登場人物の言動について理解し、その性格・人物像をつかんでいる。  e : 中国の歴史書の概要について、理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		○		○	○	○		
三 学 期	和歌	『万葉集 古今和歌集 新古今和歌集』	○				a: 声に出して和歌を読んでいる。古文独特の語を古語辞典で調べている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧やそれぞれの時代の表現・語法上の特色を理解する。	○	○	○	○	d: 物の見方、感じ方、考え方を広くしている。歌人や作歌の背景を調べたり発表したりしている。和歌の表現、思想・感情、情景を理解している。  e : 和歌を正しく音読できる。和歌の修辞技巧を理解している。『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌風を理解し、文学史上の基本的な知識を持っている。	

三 学 期	俳諧	『奥の細道』 ・俳諧紀行文を読んで、自然・人間などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳文における俳諧の役割を理解する。 ・俳文の省筆の効果を理解する。 ・俳諧を味読し、修辞技巧を理解する。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a:声に出して和歌を読んでいる。古文独特の語を古語辞典で調べている。 d:物の見方、感じ方、考え方を広くしている。作品の背景を調べたり発表したりしている。本文の表現、思想・感情、情景を理解している。 e:『奥の細道』の文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
漢詩 の鑑賞	『唐詩の世界』 ・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a:漢詩を声に出して読み、暗誦に努めている。押韻・対句の理解のために、漢和辞典を引いて調べている。詩にうたわれている情景を理解するために、地図を活用している。 d:漢詩を自分のイメージと言葉で書き換え、表現し、交流する。 漢詩と訳を読み比べて、それぞれの情趣を把握している。漢詩の感情や情景を読み取っている。 e:漢詩の決まりについて理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
中國 の思想	『論語』 ・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。 ・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a:本文を声に出して読み、暗誦に努めている。内容を理解するために、地図を活用している。思想の歴史的背景に関心を持つ。 e:句形の読み方と意味を理解している。孔子の思想について理解し、思想家が登場した背景について理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力  
           c:書く能力      d:読む能力    e:知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	「現代文B」 (桐原書店)						
副教材等	現代文アチーブ2 (桐原書店) ・新常用漢字必携パーフェクトクリア (尚文出版)						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・71期生の学年指導方針「社会人基礎力（アクション・シンキング・チームワーク）を身につける」を常に意識して学習活動を進めましょう。
- ・コミュニケーションのための「話す能力・聞く能力」を高めましょう。
- ・自分自身の考えを深めるための「読む能力」「書く能力」を高めましょう。
- ・予習プリント（語彙・内容把握）が配られます。しっかり仕上げて授業に臨んでください。
- ・グループで読んだり、批評したり、話し合ったりする機会を取り入れます。積極的に取り組んでください。
- ・定期考查は学習計画を立てて臨んでください。

## 2 学習の到達目標

- ・文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確に捉える。
- ・文章を読んで、書き手の意図や人物・情景・信条の描写などを的確に捉え、表現を味わう。
- ・文章を読んで批評することを通じて、人間・社会・自然などについて、自分の考えを深める。
- ・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現に役立てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	分掌を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化およびことばの特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 (授業態度) 記述の点検 (ノート・ワークシート・問題集など)	行動の観察 (発表などのパフォーマンス) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシート・原稿) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシートなど) 定期考查	記述の点検 (問題集・ワークシートなど) 定期考查 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学 期	隨 想	教材「自己とは何か(あるいはおいしい牡蠣フライの食べ方)」	○			◎	○	a: 「自己認識」というテーマを自分の問題として受け止めている。  d: 他者との関係性から自分自身を理解すると言ふことについて理解している。  e: 全文を正しく音読している。	a e: 行動の観察と確認  d: 定期考査  記述の確認と分析
	小 説	「山月記」	○			◎	○	a: 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。  d: 登場人物の行動や心理の変化を的確に読み取っている。  e: 作品独特のリズムと文体を味わっている。	a: 記述の点検  d: 定期考査  記述の確認と分析  e: 行動の観察
	表 現	文学作品を読んで話し合う	○	◎		○		a: 話し合う活動の意義や方法に関心を持っている。  b: 根拠となる本文を適切に示しつつ、自分の考えを発表している。  d: 題材として選んだ小説を深く読み込み、本文に基づいて自分の考えをまとめている。	a b: 行動の観察と確認  相互評価  d: 記述の確認と分析
	評 論	ミロのヴィーナス	○			◎	○	a: 筆者の着想のおもしろさについて考察している。  d: 3つの段落の要旨を把握している。  e: 同義の表現や逆説的な表現の意味を正しく理解している。	a: 記述の点検  d: 定期考査  記述の確認と分析  e: 定期考査  小テスト
	小 説	「バックストローク」	○			◎	○	a: 本文中の重要語や慣用句の意味を調べている。  d: 現在・回想・現在という作品の構成を的確に捉えている。  e: 「巨大な石の棺」などの比喩的表現の意味を正しく理解している。	a: 記述の点検  d: 定期考査  記述の確認と分析  e: 定期考査

	評論	「言葉は『ものの名前』ではない」	○		◎	○	a: 英語と日本語の比較やタイトルから、内容に関心を抱いている。 d: 言語活動によって人々の意識に初めて「もの」が存在するというソシユールの言語感を理解している。 e: 「価値」「差異」「文節などソシユールの言語感に関わる語句の意味を理解している。」	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:定期考查
2 学期	小説	「靴の話」	○		◎	○	a: 本文中の重要語や慣用句の意味を調べている。 d: 極限状況の中で浮かび上がった生々しい人間の姿を的確に捉えている。 e: キーワードの意味を的確に押さえている。	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:定期考查
	評論	「イスラム感覚」	○		◎	○	a: 日本人・日本社会についての筆者の指摘を、自分の問題として受け止めている。 d: イスラム教徒ヒンドゥー教の比較を通して、風土と規範題を読み取っている。 e: アラビア文字・イスラム教・ヒンドゥー教について、調べ、理解している。	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:行動の観察と確認
	詩	「永訣の朝」	○		◎	○	a: 宮沢賢治の作品や生涯に関心を持ち、調べている。 d: 末尾の「妹」と「わたくし」の希求するものを理解している。 e: 全文を正しく音読している。	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:行動の観察と確認
	短歌	「麦わら帽子のへこみ」 短歌八首	○		◎	○	a: 筆者の考えを、鑑賞や創作に活かそうとしている。 d: 短歌において重要な二つの要素を理解している。 e: 例としてあげられている作品の歌意を理解している。	a:行動の観察と確認 d:定期考查 記述の確認と分析 e:定期考查

	表現	短歌を作る	◎ ○ ○ ○ ○	a:日常生活の中で、積極的煮短歌の題材を探そうとしている。 b:短歌会で印象に残った短歌について感想を発表している。 c:教科書の手順に沿って短歌を作ろうとしている。 d:他の生徒の品を、的確に評価している。 e:短歌の形式について基本的な知識を持っている。	abc:行動の観察と確認 d:記述の確認と分析 相互評価 e:定期考查
	評論	科学者とは何か	○ ○ ○ ○ ○	a:環境問題や、学問・科学のあり方に関心を持っている。 d:現代に求められる科学者のあり方にについて、筆者の考えを理解している。 e:接続詞の働きについて理解を深め、文脈の把握に活かしている。	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:定期考查
3学期	小説	「こころ」	○ ○ ○ ○ ○	a:夏目漱石とその作品に関心を持ち、調べている。 d:Kの自殺の理由と、Kの自殺後の私の生き方について考察している。 e:「こころ」全文を読み、作品全体の理解を深めている。	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:定期考查
	表現	調べて発表する	○ ○ ○ ○ ○	a:与えられた課題に対して積極的に情報を収集している。 b:準備した上で、効果的なプレゼンテーションを行っている。 c:収集した情報を整理し、発表原稿を作成している e:プレゼンテーションの目的と方法を理解している。	abe:行動の観察と確認 相互評価 c:記述の確認と分析
	評論	「大人になることの曖昧化」	○ ○ ○ ○ ○	a:「子供から大人になるとはどういうことか、自らの課題として捉えている。 d:「大人になる」ことに関わる現代的な課題を理解している。 e:「 」でくくられた表現や象徴的な表現を正しく理解している。	a:記述の点検 d:定期考查 記述の確認と分析 e:定期考查

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く力  
c:書く力 d:読む力 e:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点に○、その中で最も重点を置く観点に◎を付けてある

教科	国語	科目	古典B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 古典B (第一学習社)						
副教材等	新修古典文法二訂版(京都書房)・漢文必携四訂版(桐原書店)						

## 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- 有名な古文と漢文の文章に親しむとともに、現代にも通じる心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。
- 予習として必ず本文を読み、指示された語句の意味を辞書で調べておきましょう。
- 授業を振り返って、内容や知識を定着させましょう。
- 提出物の期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## 2 学習の到達目標

古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容および思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、表記等を理解し、知識を身につけていく。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、ワークシート等)	・記述の確認(ノート、ワークシート等) ・定期考査	・記述の確認(ノート、ワークシート等) ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 学 期	説 話 ・ 伝 奇 物 語 ・ 隨 筆	『古今著聞集』 小式部内侍が大江山の歌の事 『竹取物語』 かぐや姫の昇天 『枕草子』 かたはらいたきもの 雪のいと高う降りたるを  有名な作品を読んで古文に親しむ。 助動詞・敬語について理解する。	○	○		a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。  b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。	a : 予習ノートの点検  b、: 記述の確認および定期考查
	史 話 ・ 史 記	『十八史略』 鼓腹擊壤 『史記』 鴻門之会 四面楚歌  少々長めの文章を読んで漢文に親しむ。		○		b : 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。  c : 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 禁止・抑揚・感嘆などの句形を理解している。中国の歴史書の特徴を知り、『史記』の文学性と司馬遷についての概要を知る。	b、c: 記述の確認および定期考查
2 学 期	作 り 物 語 ・ 歴 史 物 語	『源氏物語』 光る君誕生 若紫 『大鏡』 雲林院の菩提講 花山天皇の出家  物語を読んで登場人物の行動や心情を読み味わう。		○	○	b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。  c: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、敬語の意味や用法を理解している。	b、c: 記述の確認および定期考查

	小説	『三国志演義』  漢文独特の誇張表現の面白さを理解する。	○	○	b : 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。  c : 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 疑問・二重否定・使役などの句形を理解している。	b、c:記述の確認および定期考査
3学 期	日記	『更級日記』  門出  源氏の五十余巻  日記文学を読んで、人間・社会・自然に対する作者の思想や感情を読み取る。	○	○	b:作者の人間・社会・自然などの対する考え方や感情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。  c : 基本的な文法事項を理解している。	b、c:記述の確認および定期考査
	儒家の思想	『論語』  『孟子』  中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。	○	○	a : 古代中国の思想から現代に通じるもの見方・考え方を知る。  c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 反語・限定・仮定などの句形の読みと意味について理解する。	a : 予習ノートの点検  c:記述の確認および定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:読む力  
c:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けています。

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「現代文B・下巻」(大修館書店)						
副教材等	カラー版新版国語便覧(第一学習社)、センター試験国語過去問題総合版(尚文出版)、大学入試国語頻出問題(いいいづな書店)						

## 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・3年生では三年間の国語の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理的かつ柔軟な思考力のもととなる国語の力をしっかりと身に付けましょう。
- ・自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・授業で扱う作品の語句調べはもちろんのこと、日頃から読書をこころがけ、その際、辞書を引く習慣も身につけましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。
- ・様々なテーマを扱った評論に数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的な思考力を育成するとともに、柔軟な思考力を養う。
- ・明治から同時代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と人間性を養うとともに、言葉に対する感性を磨く。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考查	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考查 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	評論	教材: 「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」(内田樹)	○	○	○	◎	○	a:筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を再確認しようとする。 b:文章を読んで自分の考えを互いに発表しあって、考えを深める。 d:文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察 (発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
		教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。 b:作品を読んだ感想を互いに発表しあって、理解を深める。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深める。 d:・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考える。 e:文語体や難解な語句を的確に理解する。	a:行動の観察 (発言) b:発言・発表 c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「文明と文化の教育」(山崎正和)	○	○	○	◎	○	a:筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を再確認しようとする。 b:文章を読んで自分の考えを互いに発表しあって、考えを深める。 d:本文での意味を正確に読み取り、物の見方、考え方を深める。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察 (発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
		教材: 「猫は後悔するか」(野矢茂樹)	○	○	○	◎	○	a:具体例の提示の仕方と考察の進め方との関係、全体の構成をとらえ、評論文の特徴について理解しようとする。 b:文章を読んで自分の考えを互いに発表しあって、考えを深める。 d:言葉と世界の成り立ちの関係を説く哲学的な課題を読み解き、抽象度の高い論理を理解する。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察 (発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

	小説	教材: 「離さない」 (川上弘美)	○	○	◎	○	a:筆者独特的表現を読み味わい、現代小説に興味を持とうとしている。 b:読後感を互いに発表しあう。 d:舞台となる情景、人物の心情の推移を的確にとらえる。 e:筆者独特的表現や文体を理解する。	a:行動の観察 (発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
2学 期	評論	教材: 「風景はどのように立ち現れるか」	○	○	◎	○	a:自由な発想や豊かな想像力にあふれた評論を読み、固定化したものを見方を省ようとする。 c:要旨をまとめ、筆者のものの見方考え方をとらえる。 d:・風景は文化現象であるという筆者の考え方を的確に理解する。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察 (発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「日本文化の三つの時間」(加藤周一) 「無常ということ」 (小林秀雄)	○	○	◎	○	a:定番の評論を読むことを通じて、筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を再確認しようとする。 c:文章を読んで筆者の意見を要約し、自分の考えもまとめる。 d:文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察 (発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	小説	教材: 「檜木」(梶井基次郎) 「伊豆の踊子」(川端康成) 「赤い繭」(安部公房)	○	○	◎	○	a:・名作と呼ばれる作品にふれることで、日本文学の豊かさを理解し、小説の持つさまざまな魅力を再認識ようとする。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深める。 d:登場人物、情景、心情などを読み味わい、的確に読み取る。 e:語句の意味、比喩表現などの表現技法を的確に理解し、語彙を豊かにする。また、それぞれの小説の文学史の中における位置づけも理解する。	a:行動の観察 (発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度

d:読む能力

b:話す・聞く能力

c:書く能力

e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

## 平成29年度 国語科

教科	国語	科目	古典A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「古典A」	(東京書籍)					
副教材等	カラー版新版国語便覧(第一学習社)、やさしくくわしい古典文法(尚文出版)、 錬成古文(尚文出版)						

## 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- 様々なジャンルの古典作品を数多く読むことによって、古典をより身近なものとして、味わい鑑賞する姿勢を身につけましょう。また、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めましょう。
- 古典作品を読み味わうために、古典文法の知識や語彙力を身につけましょう。
- 予習として何度も本文を音読して、古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて語句調べをし、文脈に沿った本文における語句の意味を調べておきましょう。

また、便覧等を活用して、古典作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

## 2 学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理 解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) 記述の確認(ノート、ワークシート等)			行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ワークシート等) 定期考查	行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ノート、ワークシート等) 定期考查 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学年	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	物語	教材: 『伊勢物語』 「月やあらぬ」 「狩りの使ひ」 「小野の雪」	○			◎	○	a:古典特有の表現を味わおうとしている。 d:歌物語における地の文と和歌とがどのように機能しているのか理解している。 e:重要な古語の意味、和歌の修辞を理解している。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
		教材: 『うつほ物語』 「とりかへばや物語」	○			◎	○	a:古典特有の表現、物語の面白さを味わおうとしている。 d:登場人物の関係、若君と姫君の人物造型を理解している。 e:若君と姫君を「とりかへばや(取り替えたい)」という、物語の趣向を理解している。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
二学期	物語	教材: 『松浦宮物語』 『住吉物語』	○			◎	○	a:古典特有の表現を味わおうとしている。 d:地の文や和歌の内容から登場人物の心情を理解している。 e:和歌の修辞、「に」「し」「の」の識別方法を理解している。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
		教材: 『源氏物語』 「宇治の姫君たち」 「橘の小鳥」 「浮舟」	○			○	○	a:文学史における源氏物語の位置を理解しようとしている。 d:和歌の修辞に留意しながら正確に読み取る。 e:正確な読解を通して登場人物の人物像に迫り、「源氏物語」における宇治十帖の位置づけを理解し、作品の全体像を把握する。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト

	歴史	『平家物語』 「足摺」	○	＼	＼	＼	○	◎	○	a: 文学史における平家物語の位置を理解しようとしている。 d: 前後の物語の流れをふまえて本文の内容を正確に理解している。 e: 主要な副助詞・終助詞・副詞の意味をおさえた上で正確に現代語訳ができる。	a: 行動の観察、記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認、定期考查 e: 行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
三 学期	評論	教材: 『折たく柴の記』 『玉勝間』	○	＼	＼	＼	○	○	○	a: 筆者の主意を表す表現の内容を的確に理解しようとしている。 d: 本文の内容を理解し、人物像を読み取っている。 e: 本居宣長、賀茂真淵の事績について理解している。	a: 行動の観察、記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認、定期考查 e: 行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 話す・聞く能力      c: 書く能力

                          d: 読む能力      e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

教科	国語	科目	古典B	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「古典B」	(桐原書店)					
副教材等	カラー版新版国語便覧（第一学習社）、やさしくくわしい古典文法（尚文出版）センター試験国語過去問題総合版（尚文出版）、漢文必携（桐原書店）、大学入試国語頻出問題（いいいざな書店）						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。
- ・グループごとの古典作品の解釈やテーマを定めた発表・演習などを行って、アクティブラーニングを取り入れた授業を行います。
- ・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらによきましょう。
- ・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。
- さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考えを豊かにする。
- ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考查	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考查 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	隨筆	教材: 『枕草子』 「すさまじきもの」 「二月つごもりごろに」 「大納言参りたまひて」	○				◎	○	a: 隨筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 d: 「枕草子」の隨想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。
	史伝	教材: 『十八史略』 「荊軻」	○				◎	○	a: 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d: 主人公の人物像を把握とともに、同時代に生きた人物について理解する。 e: 漢文の句法を理解する。 作品の時代背景を理解する。
	物語	教材: 『源氏物語』 「葵上と物の怪」	○				◎	○	a: 「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d: 登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。
2学期	物語	教材: 『源氏物語』 「柏木と女三宮」 「紫の上の死」	○				◎	○	a: 「源氏物語」全体におけるこの巻の位置づけや作品の全体像の理解に努め、作品の主題や物語文学における本作品の位置づけを理解しようとする。 d: 人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。

	小説の内容を理解する	教材: 『蜻蛉日記』 「嘆きつつひとり寝る夜」	○	○	○	a: 日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。  d: 和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。  e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a: 行動の観察  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
思想		教材: 『老子』 「無用之用」  『莊子』 「胡蝶の夢」	○	○	○	a: 老荘思想の概要について、諸子百家における位置づけを含めて理解しようとする。  d: それぞれの話がどのような事を意味しているかを理解し、老荘思想の現代における意義を考察する。  e: 漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
歴史物語		教材: 『大鏡』 「道長の剛胆」	○	○	○	a: 歴史物語の文学的位置づけをふまえて、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。  d: 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取る。  e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
三学期	戯曲	教材: 『曾根崎心中』 「徳兵衛お初道行」	○	○	○	a: 浄瑠璃の音読を通して言葉の連鎖がもたらすリズムや響きの魅力を味わい、理解しようとする。  d: 内容や登場人物の心情を把握する。  e: 読解に必要な浄瑠璃についての文学史的な知識や文法知識を身につけている。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度  
d:読む能力

b:話す・聞く能力  
c:書く能力  
e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。

教科	国語	科目	古典B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「古典B」	(桐原書店)					
副教材等	カラー版新版国語便覧（第一学習社）、やさしくくわしい古典文法（尚文出版）センター試験国語過去問題総合版（尚文出版）、漢文必携（桐原書店）、大学入試国語頻出問題（いいいざな書店）						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。
- ・グループごとの古典作品の解釈やテーマを定めた発表・演習などを行って、アクティブラーニングを取り入れた授業を行います。
- ・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらによきましょう。
- ・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。
- さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考えを豊かにする。
- ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考查	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考查 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	隨筆	教材: 『枕草子』 「すさまじきもの」 「二月つごもりごろに」 「大納言参りたまひて」	○				◎	○	a: 隨筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 d: 「枕草子」の隨想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。
	史伝	教材: 『十八史略』 「荊軻」	○				◎	○	a: 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d: 主人公の人物像を把握とともに、同時代に生きた人物について理解する。 e: 漢文の句法を理解する。 作品の時代背景を理解する。
	物語	教材: 『源氏物語』 「葵上と物の怪」	○				◎	○	a: 「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d: 登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。
2学期	物語	教材: 『源氏物語』 「柏木と女三宮」 「紫の上の死」	○				◎	○	a: 「源氏物語」全体におけるこの巻の位置づけや作品の全体像の理解に努め、作品の主題や物語文学における本作品の位置づけを理解しようとする。 d: 人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。

	小説の内容を理解する	教材: 『蜻蛉日記』 「嘆きつつひとり寝る夜」	○	○	◎	○	a: 日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。  d: 和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。  e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a: 行動の観察  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
思想		教材: 『老子』 「無用之用」  『莊子』 「胡蝶の夢」	○	○	◎	○	a: 老荘思想の概要について、諸子百家における位置づけを含めて理解しようとする。  d: それぞれの話がどのような事を意味しているかを理解し、老荘思想の現代における意義を考察する。  e: 漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
歴史物語		教材: 『大鏡』 「道長の剛胆」	○	○	◎	○	a: 歴史物語の文学的位置づけをふまえて、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。  d: 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取る。  e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
三学期	戯曲	教材: 『曾根崎心中』 「徳兵衛お初道行」	○	○	◎	○	a: 浄瑠璃の音読を通して言葉の連鎖がもたらすリズムや響きの魅力を味わい、理解しようとする。  d: 内容や登場人物の心情を把握する。  e: 読解に必要な浄瑠璃についての文学史的な知識や文法知識を身につけている。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度

d: 読む能力

b: 話す・聞く能力

c: 書く能力

e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う「読むこと」に関わる観点には◎を付している。